



笑顔いっぱい かがやく入谷っ子

家庭と学校との繋がりを大切に

「子供たち一人一人が素晴らしくて、お伝えしたいことがたくさんある。」と嬉しそうに話しながら、個人面談を行うために教室に向かう教職員の姿があります。子供たちのよりよい成長を願い、関わりを深め、子供の素晴らしさを引き出そうと、教職員一同、日々子供たちと向き合っています。

子供は、かけがえのない大きな存在です。子供たち一人一人の幸せを願い、たくさんの愛を注いで育ててこられた保護者の皆様と共に、「笑顔で輝く」子供たちの姿を目指して歩んでまいりたいと考えています。

今週で面談は終了いたします。お忙しい中、お時間をいただき感謝申し上げます。子供たちの成長を大きく促していくためには、保護者の皆様と連携を図ることは欠かせないことと考えます。これからも、家庭と学校との繋がりを大切にしていきたいと思っています。何かありましたら、いつでも学校に御相談いただければと思います。

児童会について

「今日の中休み、たくさんの方が挨拶をしてくれました。でも、廊下を走っている人が多くいました。これから雨も降り、廊下が滑りやすくなるので、気をつけて過ごしていきたいでしょう。」

この内容は、5月21日(金)の給食時間の放送で、話をしてくれたものです。ゆっくり、はっきりと放送し、とても聞きやすく上手な話し方でした。

毎週金曜日の中休み、児童会が、校内の様

子を見てくれています。気づいたことをまとめて、全校に放送しています。素晴らしい児童会の活動の一つです。

2年生の姿から

トマト・ピーマン・きゅうり・なすを一人一人育てている2年生。観察の様子を見てみると、じっくり見たり、触ったり、匂いを嗅いだりと感覚を使って活動しています。

「こんなに小さかったのに、大きくなった。」
「小さなきゅうりができている。匂いもきゅうりだ。」
「葉っぱからトマトの匂いがする」
「葉っぱはふわふわする。」
「トマトは葉っぱの数が多いけど、きゅうりは葉っぱの数が少ない。」等、成長を感じたり、自分が育てている野菜と友達が育てている野菜を比べたりと、様々なことを学習していました。その中で、「あれ？これは何かな。」ときゅうりの蔓を見て疑問を投げかけてきた子がいました。「なんだろうね。」と問い返すと、「本で調べよう。」と発言。「本って何。」と問うと、「廊下に本があるんだよ。」と話してくれました。自分の疑問を解決していきたい、そのためにどうするべきかを自分なりに考えている姿が素晴らしいと思いました。実は、2年生の担任が、子供の学びを充実させていくために、野菜に関する本や図鑑を廊下に並べ、いつでも手に取れるよう学習環境を整えていました。子供たちにどんな力をつけていきたいのか、そのために何をしたらいいのか、教員が日々の授業を作っていく中で考えています。素晴らしい実りに繋がる2年生の姿を目にして、嬉しい気持ちでいっぱいになりました。